

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市街づくり活動支援会議				
事務局 (担当課)		街づくり支援課 電話042-769-9252(直通)				
開催日時		平成28年 2月 4日(木) 午後 2時00分～ 3時30分				
開催場所		相模原市役所 職員会館4階 会議室1				
出席者	委員	6人(別紙のとおり) 欠席者1人				
	その他					
	事務局	4人(街づくり支援課長、他3人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1. 開会 2. 議題 (1) 座長の選出 (2) 『横山南部 3・5 丁目まちづくり協議会』及び『宮下地区まちづくりを考える会』について(報告) (3) 相模湖駅周辺地区及び小原宿地区のまちづくりについて 3. その他 4. 閉会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

(1) 開 会

(2) 議 題

議題について、事務局より説明を行った。

『横山南部 3・5 丁目まちづくり協議会』(報告) について

横山南部 3・5 丁目地区の用途地域は何ですか。

近隣商業地域、第二種住居地域、第一種中高層住居専用地域の 3 用途に分かれています。

これは横山南部 3・5 丁目の人たちが提案・要望してきて、それを検討してきたものですか。

横山南部 3・5 丁目まちづくり協議会が自治会の下部組織にあり、長年にわたって、今の良好な住環境を今後も後世に残していくことを目標とし、まちづくり団体を発足しました。その中で地区のルールを自分たちで定め、地区計画の都市計画手続きの依頼を受けて、昨日の都市計画審議会に諮る運びとなりました。

この地区は、地域の人ほとんど賛成し、同意を得ているということですか。82.7%の同意率です。

敷地の最低限度を決める時に抵抗はなかったですか。何年か前の会議でそのような事例を聞いた記憶がありますので。最低敷地の限度を設ける場合は、売却しにくくなるので抵抗があると思うのですが、その辺はスムーズに進んだのでしょうか。決してスムーズではなく、足掛け 9 年かかりました。特に不在地主やアパート経営をされている方々が、反対される傾向が強かったです。

資料の写真を見ると第一種中高層住居専用地域ではなく、第一種低層住居専用地域に見えるのですが。

相模原市の都市計画図全体を見ますと、JR 相模原駅周辺に商業地域があり、それを取り巻くように扇形に道路が配置され、それが広がっていく過程ではこの辺は第一種中高層住居専用地域で、さらに外側に行くと第一種低層住居専用地域が広がっています。相模原駅から 1.5 km から 2 km 圏内で、商業地域から段々と第一種低層住居専用地域になっていく途中のエリアになっています。

この条例の仕組みを普通にトレースしていくと、地区まちづくり計画を策定して地区まちづくり協定を締結する仕組みになっていて、そこから地区計画へステップアップすることを想定して、パンフレットに書かれているんですが、ここの地区は地区まちづくり計画と協定は飛ばして、いきなり地区計画になったのですか。そうです。

そのくらいは、地元としてはやって欲しいという要望があったのですか。
そうです。やはり、法的規制がないと分割というのはここ十数年のうちにものすごい勢いで出始めましたので、危機感がかなりあったんだと伺ってます。

『宮下地区まちづくりを考える会』（報告）について

平成 27 年 4 月に協定締結で、平成 27 年 6 月に建築協定認可、その後何か問題になったことはありますか。

特に問題というのは何の連絡も受けておりません。認可されましたが、この工業地域の方々においては、協定を結んでいる方が少ないので、さらに協定を締結する仲間を増やし、今後も最初の目的である地区計画を定めて、操業環境の維持をしていくということで、現在も街づくり活動は続けております。

賛同されていない事業所・事業者の大きな理由は为什么呢。

こういった時代の中で、小さな工場においては今後もさらに工場を続けていけるかどうか、一番心配しているところで、もし工場を続けられなくなって、転売する時に、建築協定で定められた工場しか建てられない土地に制約されてしまい、売りにくくなるので、そういったことを考えて躊躇っているようです。位置的にも相模原駅と橋本駅のちょうど中間地点にあるところで、工業を営むにしても、生活をするにしても決して悪いところではなく、どちらかというとも良いところとも考えられ、橋本駅についてはリニア駅、相模原駅にも補給廠の返還という大きなプロジェクトがある中で、工場経営者についてはどうしようかなあという心配があると聞いてます。

それは職種で特徴がありますか。

そこまでは伺っておりません。

今後も協定なので賛同者を増やして行って、ある程度の割合に来たら地区計画に移行することも考えられるということですか。

そうです。

相模湖駅周辺地区及び小原宿地区のまちづくりについて

相模原の観光資源は緑区に集中しており、小原宿本陣は神奈川県下で大名が宿泊したとされる唯一現存している貴重な建築物であり、相模湖駅周辺も相模湖まで歩いていくルートを活かして街の活性化を促していく。9年間掛かったというが、そういった観光資源を取り入れたまちづくりを考えるべきではないですか。

9年間の経過は本課だけでなく、経済部の中で観光、経済、商業活性化の部分や、文化財保護の観点からの部分もあり、それぞれで行なってきた状態です。貴重な資源を活かしたまちづくりをどうやって行くか、まずは本当のステークホルダーは誰か調べ直し、地域の意見を丁寧に拾い上げて、今後の方針を検討します。

相模湖はご承知の通り、イルミネーションで有名なプレジャーフォレストもあり、観光資源が集中しているので、総合的に考えたまちづくりの計画をした方が良いでしょう。素晴らしい観光資源がもともとあるけど、それと小原宿をどう繋ぐかというのがひとつのテーマになる。

小原宿は、結構都内の方も地元と同じくらい知っている。箱根の関所はご存じだと思うが、それ以上の価値がある。

9年間活動され、効果がなかったのか。活動内容はすごく良いので、古民家・特産食材活用分科会とかは継続すれば絶対成果が出ると思う。

いろいろと良い意見があっても地域の方に結び付けられず、ごく一部の方々に活動されていたこともあり、なかなか継続できなかったのも、今後は改善できるよう検討します。

プレジャーフォレストは富士急が運営していて、事業の専門家でもあるので、小原宿や相模湖駅前のまちづくりの提案を頼んでも良いのでは。素人が考えるよりは良いかもしれない。

相模原の桜がありますが、県の緑化事業で植えたもので、現在の桜祭りに繋がっている。相模湖も今から何か仕掛けだけでもしておかないと次に続かない。

相模湖の周りを緑化し、スイスのレマン湖のように高級住宅地にしてイメージを変えれば、定住人口が増えるかもしれない。

確かに小原宿は有効観光資源として魅力的だと思います。一つはアピールの仕方だと思います。ロケに使ってもらったり、良いイベントはルーチン化する。そういうことを広報するポスター戦略なり PR 戦略を考え、次第には東京方面の方々にも来ていただけるように定着させていくのは、立地としては悪くないので一つの可能性として有り得ると思います。

この辺に来る人は車で来る人がほとんどで、観光で来る人も車だと思いますが、道路整備が出来てないとなかなか近づき難いと思います。道路の問題と、街をどうするかというのは密接な不可分だと思いますが、道路の問題はどのように考えていますか。

所管課が違うので、あまり軽々なことは言えませんが、相模湖周辺地区については、主だった道路の整備はもう完了しているという考え方でいます。

地権者の方が入っていない活性化専門部会の10名はどういった方々ですか。

活性化専門部会の委員は、対象区域外の地域に住んでいる委員の方々ということです。

まちを元気にする、活性化するには他所者・若者・馬鹿者が必要といます。区域外の人でも元気にしたいと思っている人であれば、地権者じゃなくても問題ないと思います。

やる人の思いが強ければ、地権者も動かせるので、むしろこうした方が良いでしょう。

何か意見を言った方がいいような気がします。

それも一つの力にしていきたいですし、三陸の復興支援の経験からいくと、自分も他所者であり、馬鹿者です、若者ではありませんが。その若者は中央線沿線に結構いて、関心のある人たちもいます。実際に横浜国立大学で、歴史的な文化財としての調査に入っている若者たちがいて、今は調査だけで終わっているんですが、違うことに関心がありそうな人たちもいるので、そういった人たちを引き込んで、その人たちの力を起爆剤にして発展していけばと考えています。

相模湖駅周辺地区の資料で、駐車場の多くが月極め駐車場という話でしたが、誰が借りていますか。

主に、この駅を利用される方でちょっと駅から離れた場所で、相模湖駅と次の藤野駅との間の方々が借りられています。

東京への通勤者が利用しているということですね。ということは、結構需要があって車が停まっている。平日の昼間使われるということですね。

そうです。7割以上が埋まっていると駐車場経営者には伺っております。

相模湖駅の利用者の内訳データを取るべきです。例えば、週末はどうか、休日はどうか、平日はどうかで、それに合わせたまちづくりも考えられると思います。

相模湖駅に特急は停まるんですか。

特急が臨時停車するのは、夏の花火の時だけです。普段は停まりません。

その時、駐車場はどうしているんですか。

特別な確保はしてないと思います。神奈中バスにお願いして、バスの臨時便はたくさん出しています。

その時に気を付けないといけないことは、押し寄せた時のイメージが悪いと次に続かないです。

地区を分けずに、総合的に考える人が必要だというのは、皆さん同じように考えていると思うので、だれか全体を把握して引っ張っていく役割が必要かなという気はします。

相模湖エリアの話をするなら、そこで活動している人たちに来ていただき、直接意見交換する場を設けた方が、この会議の機能としては重要なことだと思います。提案なんですけど、委員の方々は相模湖・小原宿についてあまり知らないと思うので、地元で活動している人たちと一緒に視察した方が良いのでは。

地元で、本陣を借りて会議を開催してもいいのでは。

本陣にはそういったスペースがないのですが、近くに自治会の集会所があります。今後の会議の運営も含めて検討していただき、まずは今日のいろんなアイデア、意見をまとめて、地元で活動されている方々とコミュニケーションをとっていただくのが一番大事だと思います。

相模原市街づくり活動支援会議委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	野澤 康	工学院大学建築学部まちづくり学科 教 授	相模原市街づくり 審査会委員	出席
2	三條 和博	青山学院大学経済学部 教 授	"	出席
3	市古 太郎	首都大学東京大学院都市システム科学域 准教授	"	欠席
4	高田 啓子	認定NPO法人まちぽっと 理 事	"	出席
5	遠藤 秀幸	遠藤秀幸法律事務所 弁 護 士	"	出席
6	谷津 弘	相模原商工会議所 建設業部会 部会長	"	出席
7	坂本 堯則	相模原市自治会連合会 理 事	"	出席